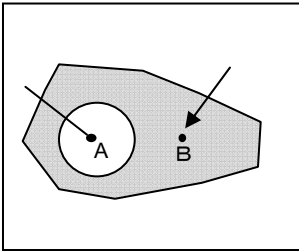
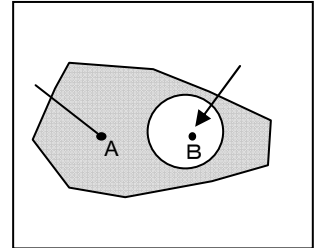


アイソレーションシステムについて



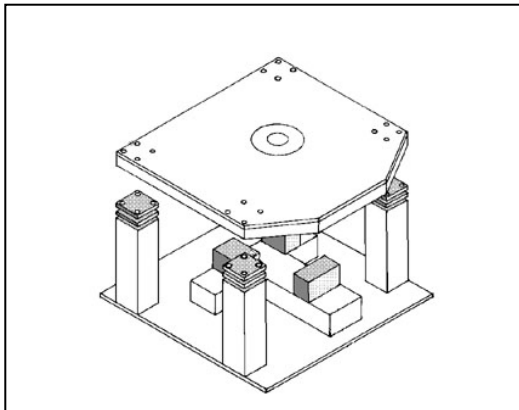
左の図のように、視野内のA点と視野外のB点に電極を確実にセットするにはどうすればよいでしょうか。この問題を解決するもっとも信頼性の高い手段がアイソレーションシステムです。

マニピュレーターを顕微鏡ステージに固定して連動させる方法も考えられます。しかしサンプルを動かすということは衝撃で電極がずれてしまう可能性も生じます。そこでサンプルや電極は一切動かさずに視野だけを動かします。そのためのシステムがアイソレーションシステムです。



★電気生理実験で最も重要な事は『安定していて動かない』ということです。当社のアイソレーションテーブルでは可動部分を一切排除し、最高の安定性と信頼性を実現しています。

◆◇ アイソレーションシステム ITS の特徴 ◆◇

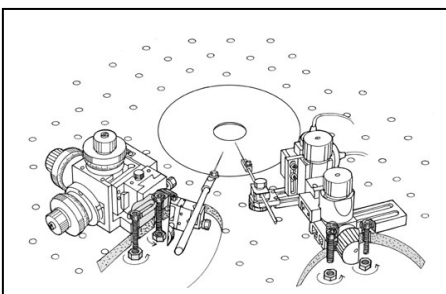
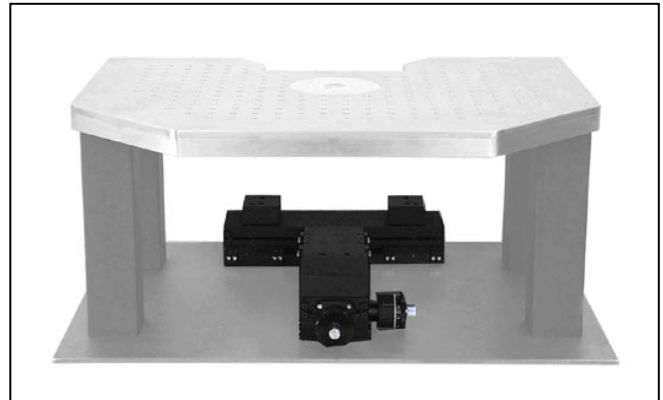


①抜群の安定性

当社 ITS は特定の正立顕微鏡に合うようにデザインされていますので、基本的に高さを調整する必要はありません。何らかの理由で高さ調整が必要な際には脚部の高さ調整ブロックを増減して行います。可動部分がありませんのでテーブルが不安定になる余地がなく、天板も常に水平になります。天板には梁を設けることで耐震性を高め、また脚部が下の鉄板と上の天板でそれぞれ固定されているため全体が歪むこともありません。

②信頼性の高いXYベース

XYベースには重量のある顕微鏡が設置されます。他社製品ではここに汎用マイクロメーターを流用していますが、当社ではマニピュレーター製造で培ったノウハウを応用した独自の構造を採用しています。使い易いのは勿論の事、重量を考慮に入れて設計されていますので、丈夫で信頼性の高い動きを実現しています。



③汎用性の高い天板

天板にはφ7mmの穴が25mm間隔で216箇所用意してあります。幅600mm x 奥行き450mmと広いスペースがありますので、器具を自由に配置できます。マグネットでの取り付けも可能です。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。